

# 1歳児 年間計画

**年間目標** ◎一人ひとりの生理的欲求や自我の芽生えを大切にしながらいろいろな甘えを受けとめ、情緒の安定を図り、自分の気持ちを安心して表すことができるようにする。

- ◎養護 ○安心できる保育者との関係のもと、簡単な身の回りのことを自分でしてみようとする気持ちや自己主張する自我が芽生える。
- 教育 ○ひとり遊びを十分に楽しみながら、保育者や友だちに自分の思いを言葉で伝えようとしたり、表現したりしてかかわって遊ぶ楽しさを知る。
- 保育士の見守りの中で十分に体を動かしてあそぶ。
- 自然物やまわりのものに興味を持ち、探索を楽しむ
- ★食育 「おいしいね！」…色々な食材を見る、触る、噛んで味わう経験を通して自分で進んで食べようとする。

	I 期(4～5月)	II 期(6～8月)	III 期(9～12月)	IV 期(1～3月)
ねらい	◎一人ひとりの生理的欲求や甘えなどの依存的欲求を満たし、安心して過ごせるようにする。  ○新しい環境や保育士に親しみ、安心して生活する。 ○保育士に見守られながら、自分の好きな遊びをする。	◎梅雨や夏の暑い時期を健康で快適に過ごせるようにする。 ◎自己主張するようになり、もの奪い合いやトラブルが多くなるため、保育士が仲立ちとなりながら互いの主張を受けとめる。  ○簡単な身の回りのことに興味をもち、保育士と一緒にしようとする。 ○砂(泥)や水など、身近な自然に触れながら夏の遊びを楽しむ。 ○身近な友だちに興味をもち、まねをしたり、かかわろうとしたりする。	◎季節の変化による気温に留意し、衣服の調節をして健康に過ごせるようにする。 ○保育士に手伝ってもらいながら簡単な身のまわりのことを自分でしてみようとする。 ○秋の自然物や虫に興味をもち、探索したり触れたりして遊ぶ。 ○保育士や友だちと一緒に、いろいろな遊びを通して体を十分に動かす。 ○好きな遊びができて、ひとり遊びをじっくりと楽しむ。	◎寒い時期を健康に過ごせるようにする。  ○自分なりに生活の流れがわかり、保育士に見守られながら簡単な身のまわりのことを自分でしてみようとする。 ○冬の自然事象に興味をもち、触れて遊ぶ。 ○保育士を仲立ちとして友だちとかかわりながら一緒に遊ぼうとする。
健康・人間関係・環境・言葉・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・落ち着いた雰囲気なかで、手づかみやスプーンを使って、こぼしながらもひとりで食べようとする。</li> <li>・保育士に子守歌を歌ってもらったり、優しくトントンしてもらったりして気持ちよく眠る。</li> <li>・嫌がらずに紙パンツをかえてもらう。</li> <li>・保育士に援助してもらいながら、衣服を着替える。</li> <li>・嫌がらずに保育士と一緒に手洗いをしたり手を拭いたりする。</li> <li>・自分の好きな遊びを見つけて遊び、つたい歩きやひとり歩きをしながら探索をする。</li> <li>・戸外遊びや散歩を通して、砂や春の身近な草花、虫に興味をもち、触れて親しむ。</li> <li>・保育士と一緒に絵本を見る。</li> <li>・指さし、身ぶり、喃語、片言で、自分の思いを表そうとする。</li> <li>・保育士と一緒にわらべうたや手あそび、ふれあい遊びをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●保育士のまねをして一緒に食前、食後のあいさつをしようとする。(個々に)</li> <li>・紙パンツにおしっこが出ていないときは保育士に誘われて便座に座ってみる。</li> <li>・ズボン、紙パンツなどを自分で脱ごうとする。</li> <li>・保育士に促されて手洗いをしたり手を拭いたりする。</li> <li>・夏の身近な夏野菜や虫に興味をもち、触れてあそぶ。</li> <li>・保育士や友だちと一緒に、砂(泥)や水などの感触を味わう。</li> <li>・保育士の言葉を聞いたり、自分の思いを指さしや自分なりの言葉で伝えようとする。</li> <li>・友だちの遊んでいるものに興味をもち、まねして遊ぶ。</li> <li>・自分の欲しいものに手を出す、引っばるなど、自己主張して遊ぼうとする。</li> <li>・興味のある絵本を保育士と一緒に見ながら、簡単な言葉の繰り返しや模倣を楽しむ。</li> <li>・保育者と一緒に、簡単なわらべうたや手あそびをうたいながら遊ぶ。</li> <li>●食材に興味や関心をもち、給食のお手伝いを保育士と一緒に楽しみながらする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな食材に興味をもち、食べてみようとする。</li> <li>・食後、汚れた口や手を自分で拭こうとする。</li> <li>・保育士に促されてトイレで排泄する。</li> <li>・保育士と一緒に簡単な衣服の着脱をしようとする。</li> <li>・戸外あそびや散歩を通して、木の実や落ち葉などに触れたり拾ったりして遊ぶ。</li> <li>・登る、降りる、押す、くぐるなどの全身を使った遊びを楽しむ。</li> <li>・並べる、つまむ、ひもを通すなどの手や指を使う遊びを楽しむ。</li> <li>●サツマイモの収穫を喜び、保育士と一緒にクッキングを楽しむ。</li> <li>・片言や二語文など、その子なりの言葉を使って、自分の思いやしたいこと、してほしいことを保育者に伝えようとする。</li> <li>・友だちの名前を言ったり、まねをしたりして遊ぶ。</li> <li>・保育士に見守られながら、様々な素材で思い思いに描いて遊ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最後まで自分で食べようとする。</li> <li>・苦手なものでも保育士等に促されて食べてみようとする。</li> <li>・おやつや食事の前、トイレのあとなどに手を洗うことがわかる。保育士の声かけによりしようとする。</li> <li>・雪、氷など冬の自然物に興味をもち、触って遊ぶ。</li> <li>・色や形に興味をもって遊ぶ。</li> <li>・保育士や友だちと簡単な言葉のやりとりをして遊ぶ。</li> <li>・身近な大人のすることに興味をもち、再現して遊ぶ。</li> <li>・保育士の仲立ちによって、共同の遊具などを使って友だちと遊ぶ。</li> </ul>
環境配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりが安心して思いを表せるように、保育者間の連携を丁寧に行う。</li> <li>・これまでのクラスや家庭での生活リズムを大切に、一人ひとりに合わせた対応を心がけ、少しずつ新しい環境に慣れるようにかかわっていく。</li> <li>●一人ひとりの目線に合わせて、ゆったりとした対応、声かけを丁寧に行いながら、子どもの話したいという気持ちや表現を見逃さないようにかかわっていく。行動の一つひとつに言葉を添え、自分が今何をしているのか分かるように声をかける</li> <li>・自分の好きな遊びや探索活動が十分にできるように、子どもの興味や発達に合わせて玩具の準備をしたり、それぞれが遊べるスペースや時間を大切にしたりして、安全な環境を整えていく。</li> <li>●前年度のクラス(ひよこ組)での遊びの様子を聞き、遊びの参考にすること。どんな遊びを楽しんできたか、また保育士がどんな思いで関わってきたのかを丁寧に引き継いでおく。</li> <li>●玩具をまだ口にいれることを頭にいれ、気をつけて見守る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・暑さや体調を崩しやすい時期なので、室内外の温度、湿度に留意し、風通しや水分補給、十分な休息、睡眠に配慮しながら健康に過ごせるようにする。また、皮膚の疾患など、夏の感染症予防に留意する。</li> <li>・砂(泥)遊び、水遊びは、子どもの体調に合わせて行うようにする。また、衛生面に気をつけながら、感触を味わい十分に楽しめるようにする。</li> <li>・子どもと一緒に絵本を見ながら「もう1回」と要求してきた場合には繰り返し相手をし、その思いを丁寧に受けとめていく。</li> <li>●自己主張による自我の芽生えも多く見られるようになるので、その子の思いをしっかり受けとめ、「～したかったね」「～使いたかったのね」と言葉にしながら相手の思いも伝えていく。また、ひっかきや噛みつき等のトラブルも増えるので、気を付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝夕と日中の気温差が大きくなるので、衣服の調節をこまめに行いながら、薄着の習慣をつけていく。</li> <li>・「自分で」という気持ちを大切に、見守ったり、励ましたりしながら、できたときにはその喜びに共感していく。</li> <li>・戸外で遊びながら、自然に触れ、体を十分に動かして遊べるようにする。</li> <li>・自分の思い通りにならず、癇癪を起したり、おもちゃの取り合いで他児とぶつかり合ったりするなど、さまざまな経験を通して子どもの心に「悲しい」「嫌だ」「甘えたい」といった複雑な感情が生じるので、その時々思いを受けとめ、わかりやすい言葉で仲立ちし、心の安定を図る。また、生活や遊びに変化をつけていく。</li> <li>・排泄は一人ひとりの様子に合わせて、無理なく対応していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザや冬の感染症に留意しながら、一人ひとりの体調の確認と把握を行い、保育室の換気などをこまめに行う。</li> <li>・食事や着脱、片付けなど、身の回りのことを自分でしようとしているときは温かく見守り、できないときや頼ってきたときは、さりげなく手伝う。</li> <li>・保育士と一緒に遊びながら子ども同士のかかわりを見守り、「友だちと一緒に」の楽しさ、おもしろさを味わえるように仲立ちしていく。</li> </ul>
家庭連携の	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一日24時間を視野に入れた規則的なリズムは、子どもの精神的、身体的な成長において大切だということを伝えながら家庭との連携を密にしたり、子どもの様子・状態を相互に理解していく。</li> <li>・個別の様子を送迎の際や連絡帳で伝える。また、クラスだよりや保育参加を通して保育の方針や子どもの理解について発信し、保護者との協議・相互理解を図りながら、園と家庭との信頼関係を構築していく。</li> <li>・テレビなどのメディア環境を遠ざけ、一対一での触れ合いの大切さを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長にとって大切な自我が芽生える時期であり、「癇癪」や「やんちゃ」が見られるようになってくるが、周りの大人がこの時期の子どもの姿を「成長のしるし」として受け止めることの大切さを伝えていく。</li> <li>・困っていること、不安なことをいつでも一緒に考えていけるように、対話を大切にいく。</li> <li>・水遊びのための準備などをお願いし、遊んだ様子を伝え、夏ならではの遊びを十分楽しめるように連携をとっていく。</li> <li>●子ども同士の関わりやその中で起こるトラブル(噛みつきなど)について丁寧に説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●着脱、排泄、清潔などの基本的な生活習慣に興味を示し、自分でやれる喜びを積み重ね、身につけていく時期なので、繰り返し丁寧に付き合うことの大切さを知らせ着脱しやすい服装などの準備をしてもらう。</li> <li>また、成長に伴ってサイズの合った洋服、おむつを確認、準備してもらう。</li> <li>・薄着になることや食事のとり方などでは、園と家庭との考え方の違いが大きくなるように常に話し合い、連携を密にする。</li> <li>●個人懇談(10月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進級に向けて心配や不安がある保護者に対して、丁寧に話を聞き、園での様子を伝えていくようにする。</li> <li>・保護者と密にコミュニケーションを図りながら、子ども一人一人の成長を喜び、進級に向けて安心できるようにする。</li> </ul>
評価・反省				